

〔岡崎 晋議員 登壇〕

○3番 岡崎 晋君 第19期議員、岡崎 晋でございます。八重山の石垣で生まれ、高校を卒業して、その後、那覇市に出て、35年前に南風原町に移り住みました。よろしく願いいたします。18日でしたか、初登庁以来、きょうで12回目の登庁だと思いますけれども、その間、私がこの庁舎内外で接してきた職員、あるいは目にしてきた職員に対する印象を申し上げます。皆さん限られた人数でよく頑張っているという印象を持っています。これからもいろいろご苦労はあるかと思っておりますけれども、明るく、元気にお仕事をしていただきたいと思います。それでは質問に入ります。

1. 町内自治会の自主防災組織の組織率と町側から自治会への働きかけ方について。

(1) 19ある自治会の自主防災組織率はどうか。(2) いつまでに全自治会に自主防衛組織を発足してもらいたいのか。(3) 自治会任せにするのではなく、もっと町側から働きかけを強めるべきではないか。

2. 新川公園トイレ前交差点の路面標示不明瞭及び通行優先変更を問います。(1) 町道258号線新川公園トイレ前交差点の「止まれ」の路面標示が殆ど消えており、公文書館側より新川43番地方面への車両が一時停止せずに走行して、非常に危険です。これまでの発生事故を把握しているか。(2) 公文書館から新川43番地を結ぶ道路が一時停止となっているが、これを兼城から坂を登ってくる町道47号線側を一時停止とした方がよいと考えます。坂を登ってくる車両は、あの交差点で視界が開けていないためにほとんどの車が一時停止するためであるが、どうか。

3. 北丘ハイツ集会所の上の地すべり危険斜面での老人施設建設計画の進捗状況と地すべり区域指定について問います。(1) 同斜面での老人施設建設計画の進捗状況はどうなっているか。(2) 沖縄県住宅供給公社から一個人に売却された同斜面一帯で、地すべり未指定区域の指定要請後の進捗状況はどうなっているか。

4. 各公立学校のクーラー設置時期は。(1) 町内公立学校の普通教室へのクーラー設置はいつまでをめどにしているか。(2) また、その順番はどうなっているか。以上、ご答弁をお願いします。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項1点目の町内自治会の自主防災組織の組織率と町側から自治会への働きかけ方についての(1)にお答えします。現在、東新川、北丘ハイツ、第二団地の3自治会が自主防災組織を結成しておりますので、組織率としては15.78%となっております。(2)についてお答えします。できるだけ早い時期に全自治会で自主防災組織が結成されることを望んでおります。(3)についてお答えします。本町では、区長会の視察研修に対する補助を実施しており、その区長会県外視察研修において自主防災組織の視察を行っております。また、定例区長会の場においても自主防災組織結成について協議を重ねており、今後も各字自治会に合った支援方法を継続して実施し、全自治会で自主防災組織が結成されるよう連携をしてまいります。

質問事項2点目の新川公園トイレ前交差点の路面標示不明瞭及び通行優先変更を問う。

(1)と(2)については関連しますので、一括してお答えします。ご指摘の当該交差点は、町としても危険箇所として認識をしております。与那原署に確認したところ、過去2年間で1件の事故(車対車)を確認しました。また10月11日に現場を確認したところ、横断歩道、標識及び路面標示は整備されております。

質問事項3点目、北丘ハイツ集会所上の地すべり危険斜面での老人施設建設計画の進捗状況と地すべり区域指定について問う。(1)にお答えします。計画地が一部地すべり防止区域内であるため、手続の流れとしては、まず最初に地すべり等防止法に基づく許可、そして都市計画法に基づく開発許可、建築基準法に基づく建築確認申請の許可を受けて工事着手となります。南部土木事務所に確認をしたところ、現在、同計画は地すべり等防止法に基づく協議を南部土木事務所と行っている段階で停滞をしているという報告を受けております。(2)についてお答えします。南部土木事務所に確認したところ、沖縄県住宅供給公社から個人に売却した土地を含む北丘ハイツ斜面地の地すべり防止区域の指定に向けた地盤調査などの業務を進めており、スケジュールとして今年度中に地域及び地権者への説明会を開催し、今年度末に指定を行う予定という報告を受けております。以上です。

○議長 知念富信君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 質問事項4番目の各公立学校のクーラー設置の時期でございます。まず(1)です。幼小中学校クーラー設置について。小学校は今年度実施計画設計、平成31年度に工事、中学校が平成31年度に設計、平成32年度に工事の計画でございます。

10月15日（第6号）一般質問

す。幼稚園については、今年度から平成32年度までの3年間で全幼稚園へのクーラー設置をする計画となっております。（2）順番についてのお尋ねでございますが、小学校間、中学校間の差はなくしたいという考えで、小学校を同時に平成31年度、中学校も南星、南風原、同じ時期に平成32年度に設置をするということです。幼稚園も全幼稚園を同時期に工事をして、平成32年度までに完成するという予定でございます。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 答弁ありがとうございます。まず最初の自主防災組織ですけれども、平成27年2月の時点、今から3年半前、そのころには与那原町ではもっと早くから既に全自治会で防災組織が発足しておりました。私たち新川においても自治会とまちづくり委員会が一緒になって、地域助け合いと称して防災講座をこちらの総務と相談して出前講座をお願いし、区民36名が参加しました。災害で電話が通じなかったことなども想定してNTTの方にも、あるいは東部消防の方にも来ていただいて防災講座をやりました。36名の人にも集まってもらって、あのとき自主防災組織を発足する機運があったんです。けれども、残念ながらそのとき、こちらの庶務の担当の方をお願いしていたんですけれども、応援、お手伝いをしてちょうだいと。ところがマニュアルとかそういうものもいただけなかったし、そのままにされたという思いがあります。あのときもっと応援とかお手伝いをいただければ、新川でも自主防災組織を発足できたんじゃないのかなと、今でも残念に思っています。そういう意味で町からは自治会、区長任せにするのではなく、もっとお手伝いあるいは東部消防の皆さんとも連携して、防災組織が発足するまでは役場、そして発足したら、その後の訓練などの運営は消防の範疇ということを、先日、照屋議員に教えていただいたんですけれども、でも19のうちまだ3つしか発足できていない。南風原で海拔の一番低いところはどこで、何メートルでしょうか。お伺いします。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 南風原町内で海拔が最も低い地域は長堂川付近で、海拔4メートルとなっております。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 私も見ました。一方、中城湾のほうからはどうなんだろうという心配もあります、津波のことですが、本町では津波の心配はないのか、大地震が起きたらどうなるのかという危機感が足りないように思います。329号をずっと北にのぼっていくと左側に丘が見えます、これがずっと中城まで続いています。あれは断層なんです。その断層がハートライフ病院の後ろに見える崖など、ところどころで途切れていますけれども、あの断層が工事をしている、与那原バイパスのすぐ横の、北丘ハイツのすぐ上の斜面、そして北丘小学校の上、中央育成園の上、そして先日土砂崩れがあった兼城相互団地の上とか、真和志高校の裏までこの断層が続いているんです。それはおわかりだと思いますけれども、いつ大災害が起きても不思議じゃないんです。スーパー台風とか大地震とかが起きて、道路が寸断されたら、インフラが途絶えてしまったら、私たちは隣同士、自治会の中でお互いに助け合っていけないといけない。そういう意味で自主防災組織をできるだけ早く全自治会に立ち上げてもらうべきではないかと思っておりますけれども、働きかけをもっと強めるべきじゃないかと思うんですけれども、いかがですか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 議員がおっしゃるとおり、災害については、近年、東日本大震災を初め甚大な被害が各地で起こっております。南風原町としても他人事ではなくこれから防災、減災に取り組んでいるところでありまして、自主防災組織についても非常に重要であると認識しております。そのために我々町としても現在の自治会と連携して、今3自治会で自主防災組織ができていますが、今年度にあと4自治会結成に向けて取り組んでいるところでありまして、今後もできるだけ早く自治会と協力して、全自治会で自主防災組織が組織できるように取り組んでいるところであります。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 我が新川の自治会でも区長はマニュアルを手元には持っているんです、早い時期から。区長会で呼びかけがあったと、自主防災組織を立ち上げてくださいと呼びかけがあったと。そこにはどなたがいらしたんですかね、班長ですか、どなたが。せめて部長か課長とか行って、もっと真剣に呼びかけるべきだと思うんです。我が新川の自治会長はマニュアルを手持っているんですけど、どのようにして進めようかと、何か月も頭を悩ませているんです。そういう意味合いで今回はこの質問をしました。是非もっと積極的にアプローチして助けてほしいと思います。よろしくお伺いします。

2番目に、新川公園トイレ前の交差点の件について。これも3年前、平成27年7月に私

10月15日（第6号）一般質問

たち新川自治会とまちづくり委員会が一緒になって新川区内を踏査、歩いて調べて回って危険箇所がないか、どこが危ないかとかというのを踏査して、要請事項をまとめてこちらに伺って、当時副町長、総務部長、総務課長、まちづくり振興課長に対応していただいて、要請をしました中の1つです、この交差点の問題は。でももう解決していますね。もう一度伺いますけれども、整備されているというお答えですけれども、どのように整備されているんですか、もう少し詳しくお願いします。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 先ほど副町長から答弁があったとおりに、11日に現場を見ました。停止線、横断歩道、停止の標識を設置されていることを確認して、岡崎議員が提案のと通りの施設が整備されております。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 優先道路を変更したんですね。交通事故は1件だったという報告ですけれども、なぜ1件で済んだか。それは兼城から上がってくる車が、あの交差点でほとんど100%とまるからなんです。壁があって、住宅があって、右から来る車が見えないから、必ずとまるから事故が1件だけで済んでいたんです。3年前に要請したときに、公文書側からの車が止まらずに、速度も落とさないで走り抜けていく動画をお見せしたのを覚えておられるかどうか、あそこはとても危険なところでした。でもようやく解決できてよかったと思います。ありがとうございます。ただ、もう一つ、この件について申し上げると、あそこは新川区民、南風原町民だけじゃなくて、それ以南の皆さんの通勤車両が渋滞を避けてあそこを通り抜けるんです。あの交差点を過ぎて、んかっかを右に曲がって、43番地の中を抜けて、那覇市方面に抜けていく車がたくさんあります。それもかなりのスピードで走るものですから、あの一帯は現在もとても危険です。この交差点が解決したから向こうは安心だということではございません。あそこはあその件、今後も勉強していきたいと思っております。

それでは3番目に、北丘ハイツの上の斜面での老人施設建設計画と地すべり警戒区域指定の件。警戒区域とか防止区域とか、いろんな使い分けがあるようなんですけれども、私はあえて危険区域と申し上げたいと思います。この件は、3月の定例会でも花城清文前議員が取り上げておりましたけれども、これは2年前に、平成28年11月か12月にも老人施設建設計画を予定している事業主が新川の自治会にも、定例の自治会にやってきて約20分間説明会を開いていました。たしか25個の部屋をつくる計画だったと思います。L字型の擁壁をあそこにつくると、皆さんのお手元に、執行部で用意していただいた、ちょっと見えにくいと思いますが、左上が先日現場視察で見た北丘階段です。真ん中の川のような流れが与那原バイパスの工事現場です。この間に波のような線があるところが、今私が取り上げている箇所です。ここで、先ほど申しましたように事業主が新川の自治会にも説明に来ていました。そのときに私たちはこの地すべりの心配があるこの斜面に、どうしてこのような計画ができるのか、立てられるのか、排水はどうするのか。あるいはもう既に亀裂が入っている、上の町道、21号線ですか、そこを工事する大型車両が往来することによってどんなことが起きるんだということを質問したり、指摘しました、あのとき。しかし、あのあと回答とか説明は一切、新川自治会に対してはございません。北丘ハイツの自治会では平成24年9月にこの事業者から計画の説明を受けた後に住民の皆さんがみずから藪の中に何度も入って、排水溝が潰れたり、ずれたり、あちこちで起きている。そういうことも確認しながら、この計画は絶対に断念してもらわないといけないという皆さん強い思いで、南部土木事務所、事業主、沖縄県議会、沖縄県住宅供給公社あるいは地主に陳情要請書を出してこられています。お答えでは、その計画は、今停滞とあります。1番目の地すべり防止法に基づく許可の申請に対して、南部土木事務所では今、協議が停滞しているということですか。停滞しているというのはどういう意味でしょうか。もう少し詳しく伺いたいと思います。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 お答えします。今、状況としましては、この申請にかかわるコンサルタントがかかわるというお話があったりして、状況としてはこの申請書は取り下げられているようです。開発をやめますということではなくて、携わるコンサルタントがかかわるので、そういうこともあって一旦取り下げているという状況です。そのほかには南部土木のほうから土質調査、解析の新たな宿題が出ているというところで、そういうので停滞していると、まだ調整中というところのようです。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 その宿題というのは、南部土木事務所から事業所に対して出ている

宿題なんですか。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 そういうことです。構造的にまだこれでオーケーというところには至っていないということで、そういう宿題があるというところですよ。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 町のほうでは、この計画に対してどのような認識を持っておられるんでしょうか。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 町のほうとしましては、総合計画でもこの地域は緑地としての位置づけをされておりますので、こういう形での利用というのは余り好ましくないのかなというふうに考えております。ただ、市街化区域の中ではありますので、これができるというところではございません。南風原町のほうとしても地滑りの兆候があるのではないかとということで、平成30年1月22日に沖縄県知事宛てにこちらのほうに、今、地すべり防止区域に計画区域の一部が入っているぐらいですので、全体的にこれを指定してくれということでの要請をしております。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 北丘ハイツの住民の皆さんは、この建設計画があることについて、とても心配で心配で、そこだけじゃなくて、北丘小学校からおりていく階段、ハイツからおりていく階段近くの皆さんもそうですけれども、あるいはこの計画が予定されている右側の住民の皆さんもそうですけれども、夜も寝られないと、大雨が続くと、台風が来たりすると。これは絶対にこの建設は認めるべきじゃないんです、好ましくないというお言葉ですけれども、この計画は絶対に進めるべきではないと思います。今でもひび割れが生じて少しずつ滑っているんです。この町道21号線と北丘ハイツの間の斜面には、合計12世帯が暮らしているんです。そのうちの4世帯はこの施設建設計画のすぐ隣です。そういうところでどうしてこんな計画があり合えるのかと、ただ好ましくないだけでは済む問題じゃないんですよ。県に対してどのような要請、働きかけをしてきているんですか、この計画に対して。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 現在もこの斜面には住宅が何戸かございます。個人の所有地になりますので、そして市街化区域ですので、こういうふうに地すべり防止区域の指定が一部あるというところではありますけれども、法律ではこれの防止対策がしっかりできているというところであれば、これはもう許可されるというところのものです。南風原町としては、当然、今地滑りの兆候があるので、今ある住宅の安全性を考えても防止区域に入れていただいて、防止対策をちゃんとしていただくというのが町としての立場かと思っております。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 これは今おっしゃったことは、次の2番目にも関連するんですけれども、地滑りについて。赤嶺町長は、都計課時代にこの斜面のことについてどういうことが行われたか記憶にありますか。

○議長 知念富信君 町長。

○町長 赤嶺正之君 北丘ハイツの背後地の斜面のことによろしいですか。そうですね、向こうには当時、法人遺産という墓地の造成があるという計画、そういった時期でございまして、そこにそういう開発があると地滑り地域でございますので、非常に影響が大きいということで、県のほうにも、担当課長としていろいろと要請に行った覚えがござい

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 その要請というのは、そういう開発行為をしないでくれという要請ですか。

○議長 知念富信君 町長。

○町長 赤嶺正之君 お答えいたします。開発行為をしないでくれという要請ではございませんで、やはりそこには地滑り地域という規制がかかっておりますので、是非この規制を、地権者の皆さんには土地利用の権限がございまして、その土地利用の際は地滑り区域の規制をしっかりと遵守して、それなりに対策を講じた開発を指導してもらいたい。ご承知のように許認可権は県知事でございますので、我々、地元の市町村としてはそういった規制をしっかりとクリアできるような指導をしてもらいたいという要請でございます。同時にまた先ほど担当課長からもございましたように、南風原町の総合計画では、あ

10月15日（第6号）一般質問

の地域は緑地保全という土地利用計画でございますので、あくまでも総合計画でございますから、規制の効力はないんですけれども、南風原町の土地利用の方針としては、そういった方針でございますということを県のほうに申し上げた記憶がございます。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 ありがとうございます。この計画をしている事業主は、余り大手じゃないんです。もしもあそこでL字型の擁壁をつくって、工事をしている間に滑ったり、あるいはできた後に滑ったりして、この事業主が倒産したりしたら、あとは誰がここを、安全を担保してくれるんですか、保証してくれるんですか。北丘ハイツの皆さんはあの一帯を、次の質問とも関連しますが、あの斜面一帯は県の住宅供給公社が所有していて、管理しているという担保があって、安心感があって皆さんハイツを買い求めたんです。ところが誰も知らないうちに、一個人に売却された。今話したように、もし万が一工事中、あるいは工事の後、営業しているときとか何かがあったら、あそこは誰が保証してくれますか。県ですか、南風原町としては県が認可したら仕方がないと言えますか。もっと強く働きかけるべきだと私は思いますけれども、いかがですか。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 答えします。地滑り防止区域に入れてくださいというのは、地滑り防止区域の場合は、この区域の地滑りに関する管理は沖縄県がやることになっておりますので、今回、総合団地のほうも地滑り防止区域でありまして、それで県が対策をしております。ですから、南風原町としましては早目に防止区域に入れていただいています。ですから今の計画どおりに、今年度中に防止区域に入ることになれば、こちらの地滑りに関する管理は県ということになりますので、沖縄県が対策を施すということになるかと思っております。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 県がやること、国がやることに直接答えられないということは、最初の新人議員の勉強会で教わりました。でもこういうことについて、町としてこれ以上かわられないということがないように、私はこの件については、ずっと見守っていきたいと思っておりますので、執行部におかれても、一旦認定したら、許可されたらもうとめようがないでしょう。そうですよね。とめようがないですよね。だから第1次の申請が許可されないように、是非働きかけを強めていただきたいと思います。お願いします。

地滑り危険区域について、皆さんの手元にある資料では、どこからどこまでが指定されていて、どこがまだなのか私ではまだよくわからないんですけれども。これを教えていただけますか、この図面の見方を。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 図面の真ん中のほうに赤い区域がございますけれども、この赤の区域と黄色、赤の周りに黄色がございますけれども、この区域が新しく区域に指定しようとするところの場所でございます。左側の灰色っぽいところ、こちらまでは地滑り防止区域に入っているというところでございます。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 この左側のグレーのところは全部指定されているということですね。ありがとうございます。お伺いします。緑地区域にしたいという、この一帯の地権者は何名おられますか。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 緑地というふうに総合計画で描いているところは、まだ区域もはっきりしておりません。1万分の1の図面にあるという形であって。場所としましては、この区域からずっと相互団地近辺まで、議員が先ほど断層になっているとおっしゃっていたところ、この区域はほぼ緑地とされておりまして。済みません、権利者の件ですが、緑地全体としては把握してございませんけれども、今回の指定は23名の地権者がございます。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 供給公社が一個人に売却する前は、公社がハイツと斜面の境目のところを草刈り作業などをしてハブが寄れないようにしていたんですけれども、今はその掃除もされないで、住民の皆さんが自分たちでやっていると。地主の方にその清掃をするように働きかけているとは聞きましたけれども、なかなかやってもらえないというのが現状のようです。町は、この公社が売却したということは当時知らされていなかったか。

○議長 知念富信君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 公社が売却しますというお話があったかということ

10月15日（第6号）一般質問

でよろしいですか。こういうことは私の知る範囲では受けていないかと思えます。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 ハイツの皆さんは本当に心配なんです。是非今後とも関係先と工事計画が進まないように、鋭意努力していただきたいと思えます。

さっき自主防災組織のところで1つ漏らしました。質問通告はしていなかったんですが、ちむぐくる館には自家発電がありますか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 ございます。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 それでは4つ目のエアコンについて。エアコンについては、これまで先輩議員の皆さんがたくさん質問あるいは提起してこられていますけれども、国も来年度の予算では、来年の夏に間に合わないの、できれば来年の春休みに設置工事を進めたいということで補正予算に取り組むと私は聞いております。まだ設置されていないのが全国で17万とかありますけれども、私は20万の教室が設置されていないと聞いています。そうすると、国が予算をつける、この予算は国が3分の1、50万円までを補助し、残りを自治体が負担するというのはそのとおりですか。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 野原 学君 現在、ご質問の国の補助金の内容については、まだ細かい情報がございませんので、現在は把握していないというところでございます。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 国の予算が3分の1について、あとは自治体ということになれば、先ほど教育長からもそのスケジュールについてご説明がありましたけれども、もしも来年の夏には間に合わせたいと、愛知県でこの夏に男の子が熱中症で死んでしまって、国も慌てていますけれども、もしも3月に春休みにやりたいとなった場合に、エアコンのメーカーの製造が間に合うかとか、エアコンの確保、あるいは工事業者の手配が間に合うかとか、そういう心配はしておられますか。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 この辺については、設計の段階で十分に計画していくんですけども、非常に現状として、その辺について厳しいのではないかと危惧しています。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 厳しいという意味は、先ほど教育長がおっしゃったスケジュールのとおりにはいかないんじゃないかという意味ですか。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 クーラーを設置するに当たっては、実際、校舎の中の教室というのは生徒たちが使っているわけですから、その生徒たちが授業を進めながら工事をするということも非常に大変です。また一様に工事を進めたいということで、南風原町の中を考えると結構な規模が大きい学校ですので、その規模を同時に工事すること自体、早目早目でどんどん前倒しでやったときに、それだけの業者、それから機械とかを十分に吟味した上で集めることができるかということが、まだきちんと計画されていませんので、その辺を危惧しているということです。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 もう一度伺います。先ほど教育長が答えられたスケジュールどおりに行かないんじゃないかという心配をしておられるんですか。

○議長 知念富信君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 私、先ほどの質問での答弁では、全ての条件が整って、財政的にも、事業所的にも、計画も、早めたいということをお願いしました。しかし、いろんな意味で計画どおりにはいかないのではなかろうかという答弁をしたつもりでございまして。

○議長 知念富信君 3番 岡崎 晋議員。

○3番 岡崎 晋君 現段階では、多分それ以上のお答えは無理だと思いますので、この質問はこれで終わりますけれども、先ほどお話ししたように、エアコンの確保とか工事業者の手配、配置とか、そういうものがおくれぬような努力をさせていただきたいと思えます。よろしくお願ひします。

私の質問を終えるに当たって、一言、ご挨拶を申し上げます。私がこのたびこの選挙に立候補を決意して、ありがたく当選を果たすまでにいろんな方から聞かれました。何を聞かれたかという、あなたは、町長の側ですか、反対の側ですかと。町長とともに行動するのか、それともその逆なのか。多分10人以上に聞かれました。私はそのたびに答えたの

10月15日（第6号）一般質問

は、私は中立で、町長が出してこられる施策一つ一つに対しておのおの判断して、そのように行動していきますと答えました。先日、照屋議員とか大城 毅議員にお声をかけていただいて情報交換、勉強をしましたが、それは今後も期待していますし、同時にほかの先輩議員の皆さん、あるいは同期の議員の皆さんと交流、勉強会をしていきたいし、そして頑張ったいと。先週金曜日に私たちは沖縄県町村議会議員、そして事務局の研修会で糸満市に行ってまいりまして、4時間近く、中身の濃い勉強をしてまいりました。その中で講師の先生がおっしゃった言葉でとても印象に残っているのがあります。それは何かというと、議会と首長は互いに緊張関係にあるべきと、私は、それは適度な緊張関係と理解しています。町長がおっしゃる町民が主役のまちづくり、役場は最大のサービス産業という方針のもとで職員の皆さんはいい仕事をしていかれると思います。私も議会の一員として、このごろ中央官邸でやたらと丁寧という言葉が使われ過ぎている嫌いがありますけれども、私はできるだけ地域の声、町民の声を拾い上げて議会の一員として自分の務めを果たして行きたいと思えます。是非よろしく願いいたします。終わります。